

トピックス③：自信をもって伝えよう YES!AOMORI

若者の県内定着・還流に向けて、令和2～3年度に庁内ベンチャー事業として実施した「県民みんなが考える『いいよね青森』推進事業」では、YES!AOMORI をキャッチフレーズに、県民の青森に対するイメージ変革や自信と誇りの醸成を目指し青森の価値や魅力を発信しました。

1 青森県って、どんなイメージですか？

青森県の大きな政策課題の一つが「若者の県外流出」です。18歳、20歳、22歳という進学や就職のタイミングで多くの若者が県外に流出し、そのまま地元に戻らないというこの問題の背景について、過去の調査結果をみると（図1）、賃金、待遇などの労働条件から県外を選ぶのではなく、「とにかく地元を離れたたい」、「都会に魅力を感じる」など、特段具体的な理由がない「なんとなく」の県外志向が目立ちます。また、子どもの就職先の選択には親の意向が強く影響しているという調査結果もあり、周囲の大人の意識が若者の県外志向を育んでいるとも言えます。

この「なんとなく」の県外志向の要因を探る上で注目したのが、青森県民が“自分たちは県外の人からどのように思われていると思うか”、それに対して、“実際に他県民は青森県民をどう思っているか”を調査し、比較した結果です（図2）。両者を比較すると、青森県民は他県民が実際に思っている以上に、自分たちをネガティブに捉えていることが分かります。

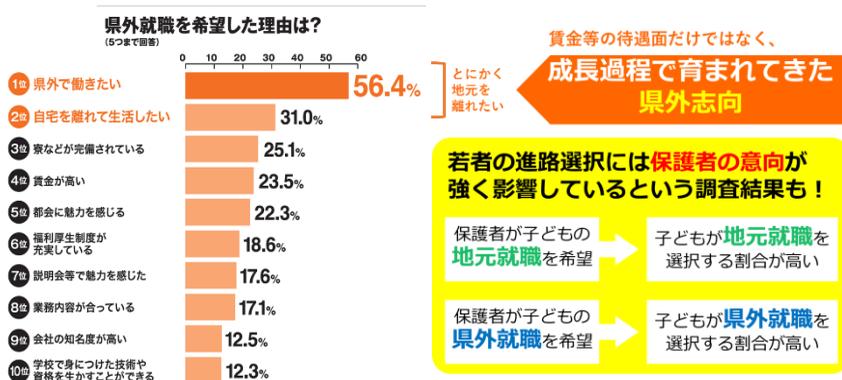
このような「県民自身が青森をネガティブに捉えてしまう」気持ちや、親から子へと世代を超えて連鎖し、若者の県外志向につながっているのではないかと仮定し、ネガティブイメージの変革を目指して取り組み始めました。

2 本当は、青森県のことをどう思っているの？

県民の青森に対するイメージや、進路選択の理由などを探るため、大学生やその保護者約1万人を対象にアンケート調査を行ったほか、県内大学の協力を得て、「青森に対するイメージ」について学生にインタビューを行いました。

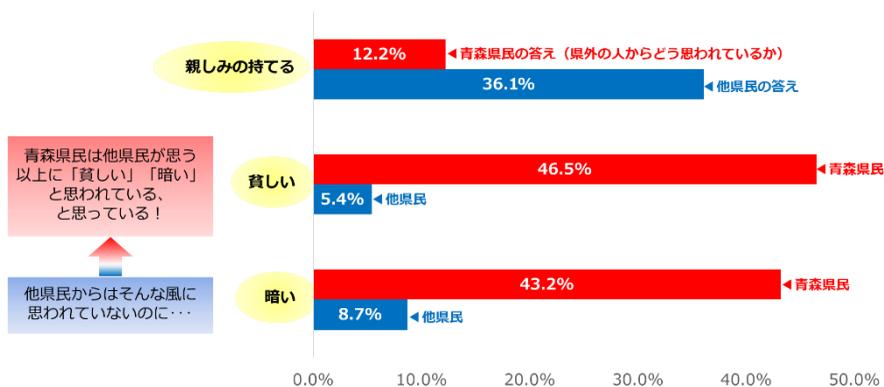
リサーチ活動から分かったのは、保護者も学生も、青森に対するイメージは決して悪くはないこと、そして、県外就職を希望する学生は多いものの、その約4割は、「いつかは青森に帰りたい」と思っていることなどでした（図3）。

<図1> 若者の県外流出の理由と背景



資料：青森県企画調整課「平成30年度高校生の就職に関する意識調査」

<図2> 「県民が、県外の人からどう思われていると思っているか」の調査結果



資料：青森県地域活力振興課「平成25年郷土への愛着やイメージに関するアンケート」

<図3> 県外就職を希望する学生の就職後の見通し



資料：青森県企画調整課「令和2年度若者の将来選択に関するアンケート調査」

3 もっと話してみよう、青森のこと

インタビューで直接学生と話をする中で見てきたのが、自分の将来について気軽に相談できる相手がいない、大人（社会人）と話す機会があまりない、という学生の姿です。経験も情報も少なく、「青森では夢を叶えられないのではないか」「都会の方がチャンスは多いのではないか」といった漠然としたイメージで県外就職を希望している学生が目立ちました。

そこで、学生が県内で働く社会人との対話を通じて、自分の将来の仕事や暮らしを具体的にイメージし、青森の魅力について考えるワークショップを県内大学で実施しました。

複数の写真やカードの中から“私が大切にしたいこと”というテーマに合うものを選び、選択理由を説明する中で自己の内面と向き合い、自分は本当は将来どこでどのように働き、どんな生活を送りたいのかを、社会人ファシリテーターや同級生との対話を通じて考えていくワークショップです。

20年後の自分の姿をイメージさせるプロセスや、経験豊富な地元社会人のトークなどを盛り込むことで、目の前の就職活動や楽しみだけではなく、家庭生活や子育てなど長期的なライフプランの観点から「暮らす場所」「働く場所」を考える機会となり、参加者からは「居住空間や子育て環境、家族がそばにいることなど、自分が本当に大切にしたいことに気づいた」「青森で叶えられることはたくさんある」など、青森の魅力を再発見できたという感想が聞かれました。

＜写真1＞大学生へのインタビューの様子（対面またはオンライン）



＜写真2＞県内大学で実施したワークショップの様子



4 自信をもって伝えよう YES!AOMORI

保護者世代をメインターゲットに青森の価値や魅力を発信し、青森に自信と誇りを持ってもらおうと、インスタグラムキャンペーン、ミニ番組・TV CM放送、新聞企画広告、フォーラム開催など、幅広く事業を展開しました。

番組やフォーラムなどに御出演いただいた県民の皆さんそれぞれが、青森に多様な価値や魅力を見出し、青森を全力で楽しみ、青森をもっと良くしていこうと行動していることに心打たれました。また、そうした一人ひとりの挑戦で「青森は確実に良い方向に変わってきている」のだと確信できました。



テレビCM (R3年度放送)



ミニ番組 (R2年度放送)



フォーラム (R2年度実施)



新聞企画広告 (R2年度掲載)

「YES!AOMORI」のロゴマーク(右)には、“「何もない」を変えていく”というフレーズを掲げています。

ついつい「青森には何もない」とつぶやいてしまう県民マインドを変えていきたい、自信をもって「青森はいい」と言えるようになって欲しい、そんな思いを表しています。

大人から子どもへ、自信をもって自分なりの「YES!AOMORI」を伝えてほしい。そうすればきっと、子どもたちは生まれ育った青森にもっと誇りを持ち、若者から「選ばれる青森」になっていける、そう思いませんか。

